



「私市植物園で

春の魅力を探そう！」

5月22日(水)「奈良は午前中雨」という気になる天気予報にも関わらず、23名の方が私市植物園の観察会に参加していただきました。この中には「自然と仲間で見た」という講座生、また会員の友人の方もおられて賑やかになりました。たまたま園内に来ておられたご夫婦の方も午前中一緒に加わっていただきました。

今年は例会の内2回を自然教室チームが担当することになりましたが、今回はその第1回目、とにかく楽しい観察会ができるようにと、チームのメンバーでいろいろ工夫をし、分担をしました。

まず午前中の1時間強については職員の方



に「植物園の見どころ案内」をお願いしました。

メタセコイアとヌマスギ、きれいに花の咲いたユリノキ、これから花を咲かすアオノリュウゼツラン、バニラの香りのカラタネオガタマ、いたるところに実生を展開するチャンチンモドキなどについて解説してもらいました。すばらしい案内でした。

ついで自然教室チームスタッフがネバナバにびっくりのトチュウ、セコイアメスギやセコイアオスギと高さを比較したメタセコイアのインプリなどを交えて案内をしました。

また自然の中でいろいろな形を見つける

ネイチャーゲーム「フィールドパターン」をしながらユリノキ広場に集まりました。

昼食後、再びネイチャーゲームの「不思議な散歩」と「目隠し歩き」を楽しみました。普段は顔を映す鏡ですが、視点を変えて使うと本当にびっくりするような不思議な世界が現れ、歓声があがっていました。また目隠しをしてペアの相手にガイドしてもらい、いろいろな自然に五感を持って接する「目隠し歩き」は目隠しをすると平常とは違った世界となり、他の感覚が研ぎ澄まされる体験をし、併せて視覚の有難さを実感しました。

その後は午後の自然観察会でした。2班に分かれて、花木園を中心にハクサンボク、ハナイカダ、コクサギなどのインプリも交えながら、今咲いている花や出来ている実など不思議いっぱい自然観察を楽しみました。昆虫博士がシデムシやコハナムグリの解説もしてくれました。

最後は大きなクスノキの前に集まり、みんなのでロープを広げて、日本一の巨木の大きさを体感するインプリで締めくくりました。



このほかにもカラスノエンドウのピーピー笛の製作、イヌマキの葉の手裏剣作りなどの自然遊びを楽しみました。

単に植物観察にとどまらず、ネイチャーゲームや自然遊び、更には昆虫観察とバラエティに富んだ観察会となりましたが、参加者からは「変化に富んで面白い観察会だった」「いろいろ覚えて有意義だった」といった感想をいただきました。何とか天候にも恵まれ、参加者皆様のご協力を得て、賑やかで楽しい観察会ができたものと、チーム一同喜んでおります。

(倉田晃 記)